

○総務省令第八十五号

電気通信事業法（昭和五十九年法律第八十六号）の規定に基づき、電気通信事業法施行規則の一部を改正する省令を次のように定める。

令和五年十二月七日

総務大臣 鈴木 淳司

電気通信事業法施行規則の一部を改正する省令

電気通信事業法施行規則（昭和六十年郵政省令第二十五号）の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の下線を付した部分をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の下線を付した部分のように改め、改正前欄及び改正後欄に対応して掲げるその標記部分に二重傍線（二重下線を含む。以下同じ。）を付した規定（以下「対象規定」という。）は、改正前欄に掲げる対象規定を改正後欄に掲げる対象規定として移動し、改正後欄に掲げる対象規定で改正前欄にこれに対応するものを掲げていないものは、これを加える。

(業務の停止等の報告)

第五十七条 【略】

2 前項の表四の項に掲げる重大な事故に関する報告をしようとする者(卸電気通信役務の提供を受ける電気通信事業者に限る。)は、当該重大な事故が当該卸電気通信役務の提供を行う電気通信事業者において生じた重大な事故に起因する場合においては、前項中「発生日時及び場所、概要、理由又は原因、措置模様」とあるのは「発生日時、措置模様」と読み替えるものとし、前項の規定にかかわらず、様式第五十の三の二により報告書を提出することが出来る。

3 【略】

様式第50の3の2 (第57条第2項関係)

重大な事故報告書(卸電気通信役務の提供を受ける電気通信事業者)

年 月 日

総務大臣 殿

郵便番号

(ふりがな)

住 所

(ふりがな)

氏 名(法人にあつては、名称及び代表者の氏名を記載すること。)

登録年月日又は届出年月日及び登録番号又は届出番号

連絡先(連絡のとれる電話番号等を記載すること。担当

部署等がある場合には、当該担当部署名等を記載すること。)

発生年月日及び時刻	復旧年月日及び時刻	
措置模様(事故対応状況)		
利用者対応状況		
関連する基準及び規程		
事故を生じさせた卸電気通信役務の提供元		

注1 「措置模様(事故対応状況)」の欄は、当該事故の発生時、認知時、復旧作業経過及び後

日対応等に応じた措置模様を、日時及び対応者とともに記載すること。

(業務の停止等の報告)  
第五十七条 【同上】

【新設】

2 【同上】

【新設】

<p>2 「利用者対応状況」の欄は、利用者からの申告（苦情を含む。）数並びに当該事故に係る広報の手段（ホームページの掲載、報道発表等）、日時及び内容を記載すること。</p> <p>3 「関連する基準及び規程」の欄は、当該事故に関連する基準及び規程がある場合には、それに対応する対応方針等を記載すること。</p> <p>4 「事故を生じさせた卸電気通信業務の提供元」の欄は、事故の原因となった重大な事故を生じさせた卸電気通信業務を提供する事業者名を記載すること。</p> <p>5 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とすること。</p> <p>様式第50の4（第57条第3項関係） 【略】</p>	<p>様式第50の4（第57条第2項関係） 【同左】</p>
<p>備考 表中の「」の記載及び対象規定の二重傍線を付した欄記部分を除く全体に付した傍線は注記である。</p>	

附 則

この省令は、公布の日から施行する。